

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社ミライ・シア

②施設・事業所情報

名称：GENKIDS瀬谷保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：千葉 祐子	定員（利用人数）： 63名
所在地：横浜市瀬谷区中央1-4 スマイルストリート瀬谷3階	
TEL：045-306-0581	ホームページ： https://www.nihonhoiku.co.jp/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2005年4月	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社日本保育サービス	
職員数	常勤職員： 13名 非常勤職員 12名
専門職員	栄養士 3名
施設・設備の概要	（居室数）保育室6、ホール、給食室、応接室、多目的室、コーナーリティー、更衣室、休憩室、事務室、園庭 （設備等）園庭、非常階段、シャワー室、駐車場

③理念・基本方針

- 1) 安全&安心を第一に保育・育成を実施します
- 2) いつまでも思い出に残る施設となるよう日々の保育を大切にします
- 3) 職員が楽しく働けることで子どもたちを笑顔にします
- 4) 地域とつながり支え合う施設として社会に貢献します
- 5) 常に時代が求める子育て支援を実践し続けます

④施設・事業所の特徴的な取組

GENKIDS瀬谷保育園は一人ひとりがのびのび笑顔で過ごせる保育園です。園目標「よくあそび よくたべ よくねる」にあるように、日々の生活や様々な行事を通して、大きく成長することの姿を見守っていきます。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年8月1日（契約日） ～ 2023年3月31日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（ 2017年度）

⑥総評

◇特長

1 子ども一人ひとりを大切にしたい保育

「一人ひとりに心をかけ、愛情を注ぎ、成長に合わせたきめ細やかな保育を行う」と保育方針に示しています。家庭と保育園の生活の流れや連続性を大切にしています。園長はじめ全職員で、各種会議、毎朝のミーティング、打ち合わせ、連絡ノート、園内研修などで情報を共有し、子どもの様子を伝えあっています。保育環境も見直しながらそれぞれの子どもの興味や発達を大切にしたい保育が行われています。子どもの気持ちや言葉を十分受け止め、子どもとの信頼関係、保護者との信頼関係を作り、子育ての楽しさを共感し合えるように努めています。今回の第三者評価調査利用者アンケートの「職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれているか」「園での

活動は、お子さんが興味や関心をもって行えるものになっているか」の設問に、高い支持率を得ています。

2 保護者とのコミュニケーション、連携をとろうとする努力

全員、ノート型の連絡帳があります。子どもの状況や活動に取り組む姿などを丁寧に伝えています。口頭でも、担任以外の職員でも積極的に、各子どものエピソードや微笑ましい姿などを伝え、一緒に成長を喜べるように心がけています。

いつでも、相談や話が出来ることを、保護者に伝えており、園長・主任はじめ、職員全員で、子どもを見ていることを伝えています。

1日の保育内容は、園内に掲示したり、ブログ配信など行ったり、子どもの作品を園内に展示しています。コロナ禍でも、送迎は保育室前となっており、親子とも安心感が持てました。

◇今後期待される点

1 運営法人の合併に伴う様々な見直し

今年度から運営法人が合併し、様々なことを新しい形式に合わせていかなくてはならない状況でした。例えば、書類の様式が変わり、それに慣れるために時間が必要になっています。また、新しいマニュアルを基にしてやり方を変更しなくてはならないところもあります。優先順位を付けて、1つずつ確実に新しい形式に合わせていき、体制を安定させることが望まれます。

2 全体的な計画や長期・中期計画など、職員も参画しての計画策定

全体的な計画は本部が作成したものを土台に園長が作成しています。また、園の将来の方向性を示す長期・中期計画についても本部が用意した書式に沿って園長が単独で作成しています。これらの計画は保育園を運営していく上で中核となるもののため、現場の職員の意見等も把握し、反映させていくことが望ましいと考えられます。そして、進捗状況等を定期的に振り返る機会を設け、PDCAサイクルを回していき着実に実行していくしくみづくりも必要になってきます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

当保育園は、2005年4月に認可保育園として開園いたしました。笑顔の絶えない家庭的な雰囲気の中で、お子さまをお預かりし、保護者の皆様とのコミュニケーションを大切にしてきました。調査結果を拝見させて頂き、「子ども一人ひとりを大切にした保育」「保護者とのコミュニケーション、連携を取ろうとする努力」に高い評価を頂き、大変うれしく思います。日々の保育を職員が丁寧に行い、保護者とのコミュニケーションを大切にしてきた結果だと感じます。また、今回の受審にあたり、職員での自己評価を行った事で、保育の振り返りや、現在の園の状況や環境を見直すきっかけとなりました。マニュアルの把握、中長期計画の作成では、これから一つ一つ職員会議を通して決定していきたいと思えます。最後に訪問調査を実施して頂いた方々に様々な視点での助言を頂いたことに感謝し、またお忙しい中アンケートにご協力を頂いた保護者の皆様にお礼申し上げます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり